

環境活動レポート

2017

対象期間【平成29年6月～平成30年5月】

北上ビルメン株式会社
北上市幸町2番5号

平成30年11月29日作成

目 次

◆ 環境方針	3
◆ 環境行動指針		
◆ 事業の概要	4
■ 事業所名及び代表者氏名		
■ 本社及び営業所所在地		
■ 環境責任者氏名及び担当連絡先		
■ 事業活動内容		
■ 許可証一覧	5
■ 事業の規模		
■ 廃棄物運搬車両		
■ 実施体制	6
■ 教育・訓練の実施	7
■ 環境コミュニケーション		
■ 地域社会貢献活動		
■ 環境上の緊急事態への準備及び対応	8
◆ 環境への負荷の現状	9
◆ 環境目標とその実績	10
◆ 環境活動の取組結果と その評価及び次年度の取組内容	14
◆ 環境関連法規への違反、訴訟の有無	...	16
◆ 代表者による全体評価と見直し結果	...	17
◆ 情報公開	18

環境方針

北上ビルメン株式会社は社員全員で、ビルメンテナンス業・特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物収集運搬業・警備業において、現状よりさらに吟味し、コンプライアンスの徹底を図り、地域社会の環境保全に寄与し、孫・曾孫の世代に安心して安全な美しい自然環境を引継ぐように努力します。

環境行動指針

- 1 当社の事業活動に伴う環境負荷(二酸化炭素排出量・排水量・廃棄物)の低減に努めます。
- 2 事業活動に関連する法規制は確実に遵守することを誓約いたします。
- 3 業務車両のアイドリングストップなどによるエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組めます。
- 4 受託した一般・産業廃棄物の分別指導により再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 5 環境に配慮した資材を購入し、資材コストの削減を図る。
- 6 グリーン購入を積極的に努める。
- 7 地域・社会貢献活動の推進に努めます。

この環境方針は従業員に周知すると共に社外にも公表する。

平成 18 年 5 月 18 日制定
平成 20 年 3 月 14 日改定
平成 23 年 7 月 14 日改定
平成 27 年 4 月 1 日改定

北上ビルメン株式会社

代表取締役社長 鈴木俊彦

1. 事業の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

北上ビルメン株式会社 代表取締役社長 鈴木俊彦

2) 本社及び営業所所在地

本社 〒024-0033 岩手県北上市幸町2番5号

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

警備本部 〒024-0051 岩手県北上市相去町山田2番8号

北上オフィスプラザ306号

認証登録範囲

一関営業所 〒021-0893 岩手県一関市地主町7番33号

盛岡営業所 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り2丁目11番17号

宮古営業所 〒027-0085 岩手県宮古市黒田町7番27号

※次の営業所、事業所、待機所は2020年の更新審査までに認証範囲に含まれます。

花巻営業所 〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘2丁目27番22号

仙台事業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1丁目5番1号

水沢待機所 〒023-0402 岩手県奥州市胆沢区小山字笹森136番16号

大船渡待機所 〒022-0004 岩手県大船渡市猪川町字下権現堂103番7号

盛岡南待機所 〒020-0833 岩手県盛岡市西見前15丁目46番13号

交通誘導待機所 〒024-0063 岩手県北上市九年橋3丁目18番16号

※ 本社地図 ※ JR北上駅より、徒歩5分



3) 環境責任者氏名及び担当連絡先

責任者 総務部長 小原 輝昭 担当者 総務部主任 平野 直希

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

E-mail info@kbm1972.com URL <http://www.kbm1972.com>

4) 事業活動の内容

(1) ビルメンテナンス業

(2) 一般廃棄物収集運搬業

(3) 警備業

(4) 特別管理・産業廃棄物収集運搬業

(5) 一般建設業

認証登録範囲

※ 弊社は社員の大半がビルメンテナンス業の清掃部と警備部に属しており、大半の社員が請負先会社に常駐しております。よって請負先の環境方針、取り組みに従いEMSに取り組みます。また、自社で行っている環境活動の方針を教育致します。2022年の更新審査までに認証範囲に含まれます。

5) 認証範囲の許可証一覧

許可名	許可期間	許可番号	事業の範囲
建築物環境衛生総合管理業	H30.6.8～ H36.6.7	県知事登録 岩手県 53 三十総第1号	
建築物ねずみこん虫等防除業	H30.11.18～ H36.11.17	県知事登録 岩手県 53 三十ね第2号	
建築物飲料水貯水槽清掃業	H30.8.29～ H36.8.28	県知事登録 岩手県 53 三十貯第1号	
浄化槽保守点検業	H28.3.14～ H31.3.13	県知事登録 岩手県 27 (登) 中第11号	
警備業	H30.4.7～ H35.4.6	第83-17号	
産業廃棄物収集運搬業	H29.5.15～ H34.5.14	県知事許可 岩手県第 00302006606号	※1
特別管理産業廃棄物収集運搬業	H30.7.19～ H35.7.18	県知事許可 岩手県第 00352006606号	感染性産業廃棄物収集 運搬
一般廃棄物収集運搬業(北上市)	H30.7.4～ H32.7.3	北上市許可 北上市第 478号	一般廃棄物収集運搬

※1 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず・がれき類（自動車等破砕及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）

6) 事業の規模

活動規模	2017年度 (2017年6月から2018年5月)	697名中
売上高	1,467百万円	本社 : 34名
従業員数	697人	管制・北上待機 : 29名
対象従業員数	80人	一関営業所 : 7名
本社床面積	274.58 m ²	盛岡営業所 : 5名
		宮古営業所 : 5名
		請負先常駐従業員 : 617名

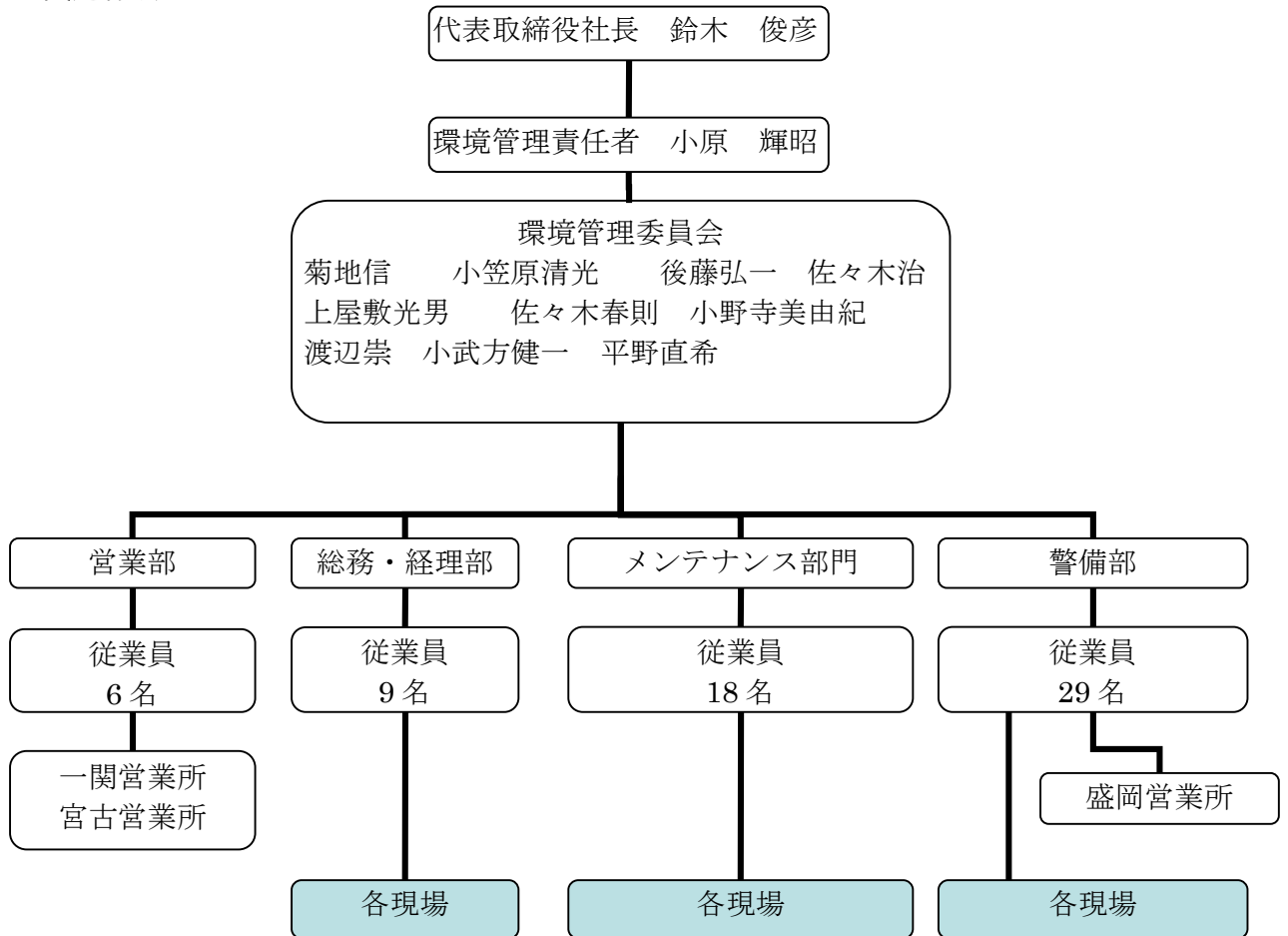
H30.10.31 現在

7) 廃棄物運搬車両

	塵芥収集車 1台	アルミバン 1台
車体の形状	塵芥車	バン
種類	普通	普通
積載量	1,500kg	1,300kg

※産業廃棄物処理業としての組織概要は末筆に記載してあります。

8) 実施体制



は対象範囲外です。

役割	担当者	責任・権限
代表取締役社長	鈴木俊彦	①環境管理責任者を任命する。 ②環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。 ③取組に対する資源を用意する。 ④環境方針を制定し、従業員へ周知させる。
環境管理責任者	小原輝昭	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
環境管理委員会	各委員	①環境目標・活動を作成し実施する。 ②必要な教育訓練を計画し実施する。 ③環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認する。 ④環境目標・活動の実施状況を定期的に確認・評価する。 ⑤苦情等の受付結果をまとめる。 ⑥問題の是正処置及び予防処置を行う。
部門責任者	伊藤竹彦 菊地信 小笠原清光 高橋賢一	①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③EA21 目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。 ④苦情や要望については、各業務主管部長若しくは課長が窓口となり、その報告を受け必要な対応を行なう。
従業員		①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。 ④改善提案を行なう。

9) 教育・訓練の実施

当社は、エコアクション21環境経営システムの取組を適切に実施するため、必要な教育・訓練を実施する。本社認証登録範囲該当者に対し、環境経営システムガイドライン、環境方針、環境目標及び環境活動計画についての教育を行う。また、環境関連法規制に関連する業務の担当者に対しては、法規制の内容、遵守手順、緊急事態への対応についての教育を行う。

※今期の主な教育実施状況

	教育内容	講師等	対象者
1	階層別教育	環境管理委員	認証範囲従業員
2	緊急事態への対応	環境管理委員	認証範囲従業員

10) 環境コミュニケーション

当社は「環境活動レポート」を作成しホームページにて公表しております。
また外部からの環境に関する苦情や要望等を受付け、迅速かつ適切な対応を行います。

11) 地域社会貢献活動

地域の方々と協力し、当社周辺の除雪作業を実施するほか、交通安全運動期間中には交差点での街頭活動を実施しております。今後も継続して地域貢献活動を実施します。

【除雪作業風景】



【春の交通安全運動 街頭活動風景】



12) 環境上の緊急事態への準備及び対応

環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定める。また、可能な場合は定期的な訓練を実施する。当社では緊急事態として火災を想定し、初期消火をその対応策とする。尚、遵守すべき環境関連法規制に関連して発生した場合、環境に及ぼす影響が大きいと考えられるものを緊急事態と想定する。

※想定される緊急事態及び対応策

想定される緊急事態	①火災発生によるCO ₂ の放出 ②消火剤の河川流出
想定される環境影響	①大気汚染、地球温暖化 ②水質汚濁
緊急事態の発生原因	①タバコの吸殻の不始末
緊急事態の予防策	①指定場所以外での喫煙の禁止 ②消防訓練の実施
緊急事態の対応策	①消防署への通報 ②避難誘導 ③初期消火
緊急事態の準備品	①消火器の設置
対応策実施の評価	移動については問題ありませんが、整列、点呼をもう少しスムーズに行えると良いと思います。消火訓練は環境を配慮し水消火器を使用し、風向きに注意を払いながら的を目掛け放水しました。初めての人もおりましたが恐怖感等なく正しい使用方法で落ち着いて行っておりました。

【訓練風景】

想定事態の内容

- ・事務所2F給湯室から火災発生
- ・塵芥収集作業中、突然荷台で爆発・火災発生

緊急事態の対応訓練

- ・消防署への通報
- ・避難誘導
- ・初期消火

[平成 29 年 8 月 25 日]



2. 環境への負荷の現状

本社、警備本部、一関営業所、宮古営業所、盛岡営業所
【総エネルギー投入量と二酸化炭素排出量】

	エネルギー消費量 電力:kWh LPG:kg ガソリン等:ℓ			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		
	2015年度	2016年度	2017年度	2015年度	2016年度	2017年度
電力	77,037	76,622	76,251	43,064	42,832	42,624
LPG	5,388	4,243	4,572	16,175	12,737	13,725
ガソリン	38,462	42,365	41,029	89,296	98,357	95,255
軽油	16,586	12,374	13,502	43,527	32,474	35,434
灯油	6,518	6,384	6,303	16,242	15,908	15,707
合計				208,304	202,288	202,745

【資源投入量】

	2015年度	2016年度	2017年度
上水	449 m ³	447 m ³	446 m ³

※総排水量を把握するには困難であるため、上水使用量を数値と致しました。

【資源投入量】

	2015年度	2016年度	2017年度
コピー用紙	797.2Kg	762.6Kg	758.8Kg

【廃棄物排出量】

	当社排出廃棄物量		
	2015年度	2016年度	2017年度
単純焼却	365	387	404
埋め立て	25	0	0
再生利用	1,645	1,645	1,726
合計	2,035	2,032	2,130
リサイクル率	80.8%	81%	81%

3. 環境目標とその実績

3-1 2016年度の環境目標

環境負荷低減の取組として効果が期待できる。総エネルギー投入量、資源投入量、廃棄物総排出量の3点の削減に取組むことと致しました。また、経営と環境負荷が一体となる取組として資材費の削減、その他の取組みとしてグリーン購入の推進、環境に関する教育、社会貢献活動等も実施しております。

基準年度を2014年度に設定し、下記の目標を設定致しました。

*また、10年以上取組を続けており、今後削減が難しい項目については一定の数値目標にしております。

A 総エネルギー投入量の削減

- (1) 電気使用量を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2017年度中期目標1.5%削減)
- (2) 灯油使用量を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2017年度中期目標1.5%削減)
- (3) LPG使用量を基準年度対比で0.5%削減 (2017年度中期目標1%削減)
- (4) 自動車燃料使用量を基準年度対比で0.5%削減 (2017年度中期目標1%削減)

B 資源投入量の削減

- (5) 本社水道使用量を320 m³に設定、一関営業所を130 m³に設定。(今後も一定の基準)
- (6) 印刷用紙使用量を820 kgに設定 (今後も一定の基準)

C 廃棄物総排出量の削減

- (7) 当社から排出される廃棄物のリサイクル率を80%に設定 (今後も一定の基準)
- (8) 受託した廃棄物のリサイクル率を基準年度対比で1%アップ
(2017年度からリサイクル率の向上に目標を変更)

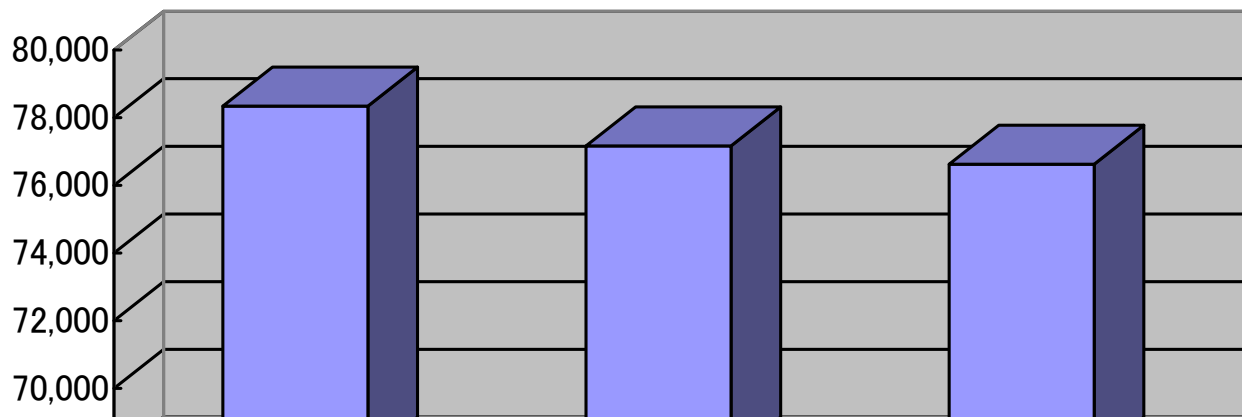
D 資材費の削減

- (9) 資材費を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2017年度中期目標1.5%削減)

3-2 環境への取組実績

(1) 電気使用量について

	基準年実績 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
電力使用量 (kwh)	78,342	77,171	76,622	101%
CO2排出量 (Kg-CO2)	43,793	43,139	42,624	



※2015年度東北電力排出係数で算出 0.559 (kg-CO2/kWh)

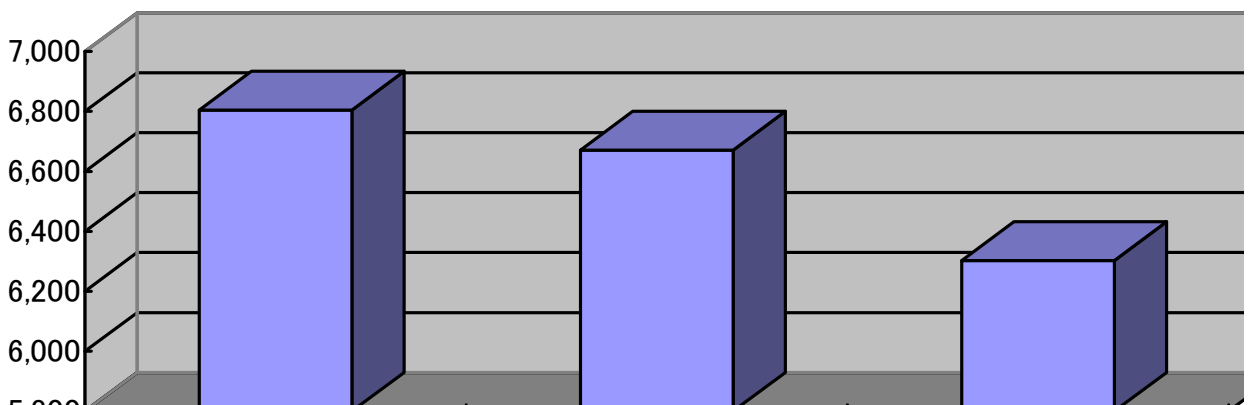
【具体的な取組】

- ・昼休み・退社時の消灯の励行 ・冷暖房機の待機電力カット
- ・クールビズ・ウォームビズにより冷暖房使用の抑制
- ・冷暖房温度を適正にする（夏場 28℃、冬場 20℃）
- ・冬期間の膝掛け使用 ・保温フィルム、断熱材による室内保温対策
- ・すだれの設置による日除け及び断熱対策 ・サーキュレーターによる空気循環



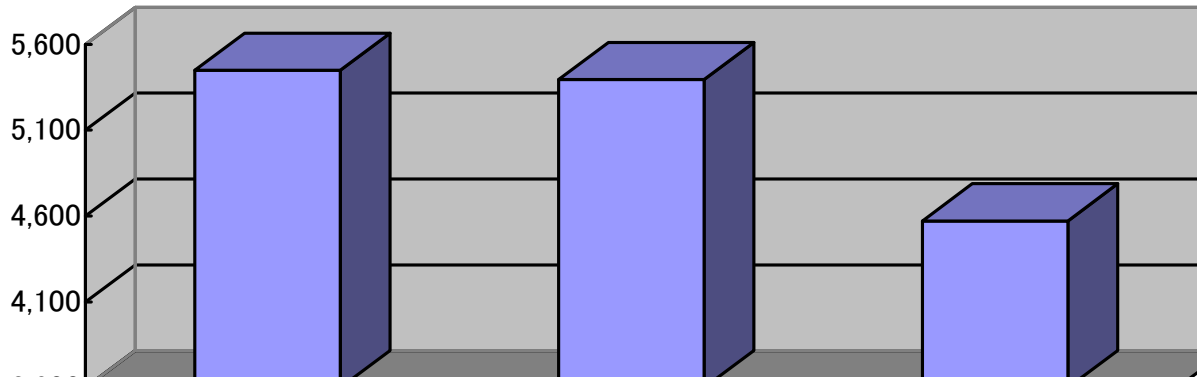
(2) 灯油使用量について

	基準年実績 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
灯油使用量 (ℓ)	6,805	6,671	6,303	106%
CO2排出量 (Kg-CO2)	16,958	16,624	15,707	



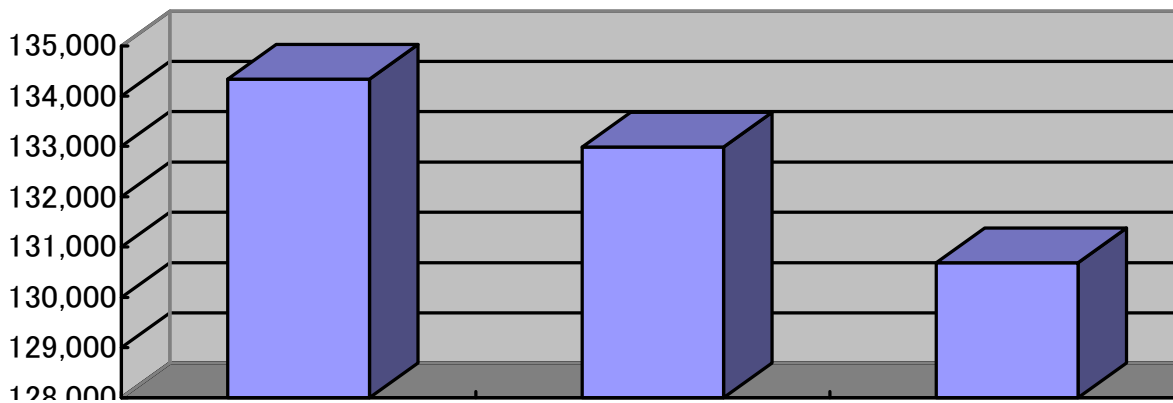
(3) LPG使用量について

	目標基準値 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
LPG使用量 (kg)	5,448	5,394	4,572	118%
CO2排出量 (Kg-CO2)	16,355	16,193	13,725	



(4) 自動車燃料の使用量について

	目標基準値 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
ガソリン (ℓ)	39,084	38,693	41,029	94%
軽油 (ℓ)	16,612	16,445	13,502	122%
CO2排出量 (Kg-CO2)	134,336	132,989	130,689	102%



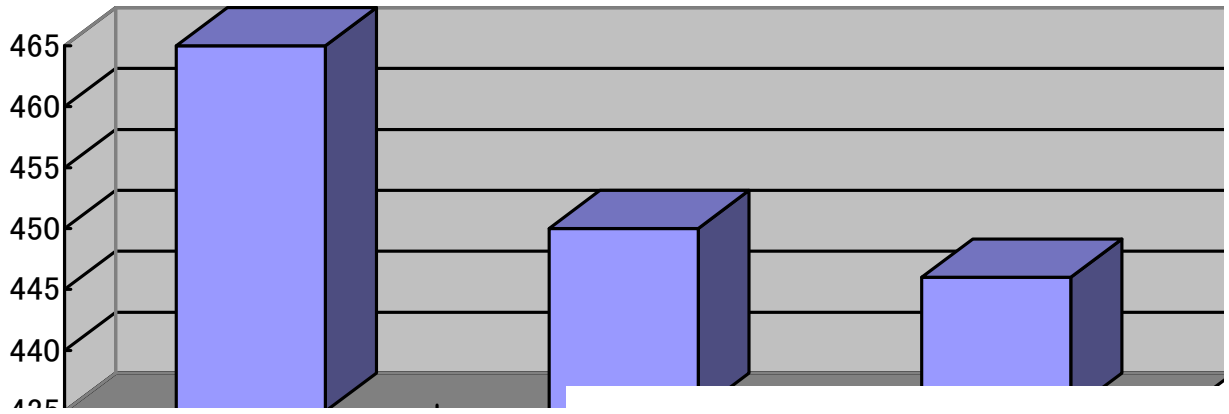
※2015年度目標未達の為、再度2016年度も同じ目標。

【具体的な取組】

- ・ エコドライブの推進 ・ アイドリングストップの徹底
- ・ 急発進・急加速を抑制する
- ・ 車輛整備 (タイヤ空気圧) などを適正に実施する
- ・ 走行数・燃料使用量の把握、管理
- ・ 道路交通情報の活用 ・ お客様セット忘れによる出動を無くすよう指導する

(5) 水道の使用量について

	基準年実績 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
上水 (m ³)	465	450	446	101%



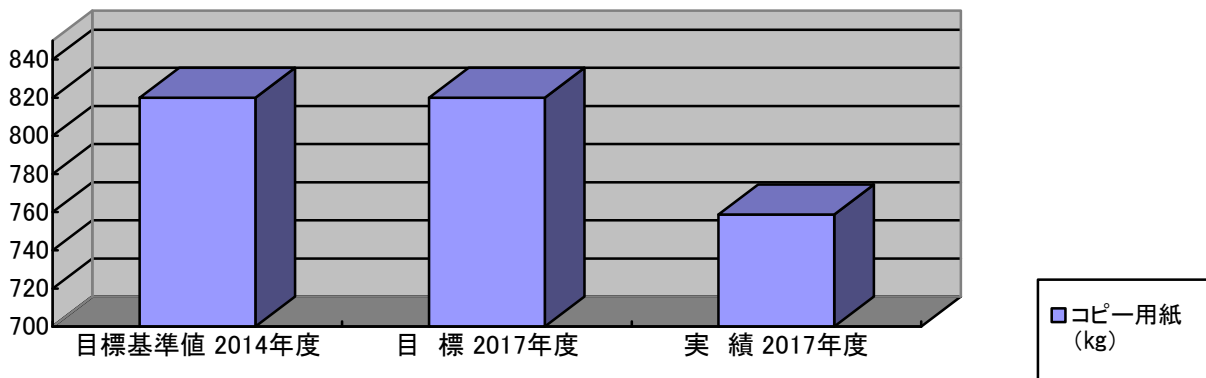
【具体的な取組】

- ・節水表示をする
- ・バケツ洗車を行う
- ・雨水タンクの洗車使用
- ・洗濯のまとめ洗い
- ・水の持出し数量の適正化を図る



(6) 印刷用紙の使用量について

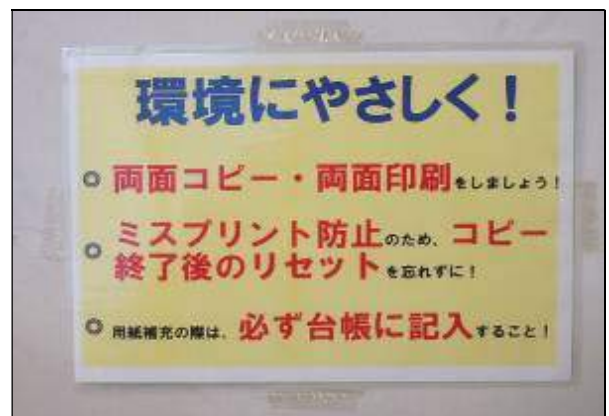
	目標基準値 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
コピー用紙 (kg)	820	820	758.8	108%



■コピー用紙 (kg)

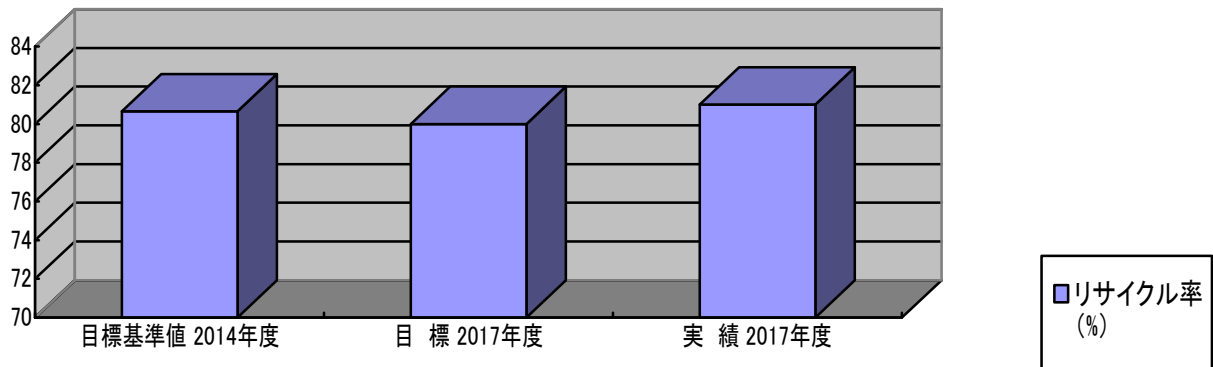
【具体的な取組】

- ・両面コピー、両面印刷の徹底
- ・使用済み用紙の裏紙印刷
- ・ミスプリントをなくすため、コピー終了後のリセットの徹底
- ・メールや回覧などで印刷量の削減を図る
- ・不要な機密書類には、スタンプを押して裏紙用紙にする
- ・スキヤナの有効活用



(7) 当社排出廃棄物リサイクル率について

	目標基準値 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
リサイクル率 (%)	80.65	80.0	81.0	101%



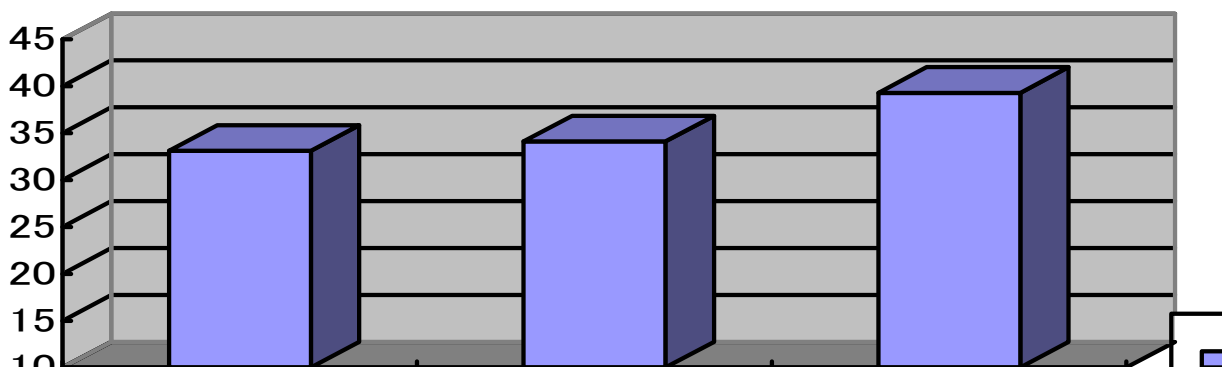
※再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

【具体的な取組】

- ・ 使用済み用紙の裏紙利用
- ・ 紙のリサイクル分別（機密書類以外の分別）
- ・ 業務に必要なもの以外の持ち込み禁止
- ・ 分かりやすい分別方法の掲示

(8) 受託した廃棄物リサイクル率について

	目標基準値 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
リサイクル率 (%)	33.1	34.1	39.3	115%



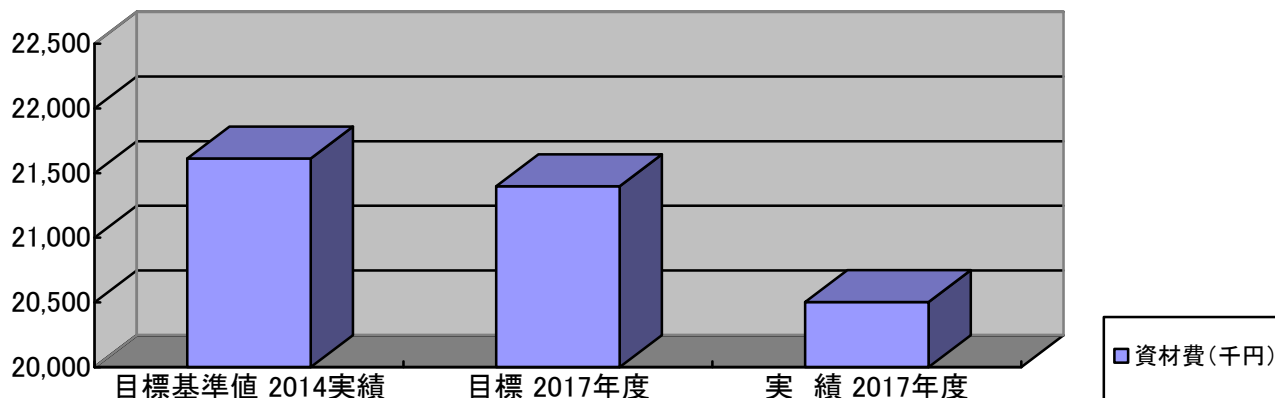
※再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

【具体的取組】

- ・ 顧客へ適切な分別指導を行い、リサイクル率の向上を図る。

(9) 資材費の削減について

	目標基準値 2014実績	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
資材費 (千円)	21,613	21,291	20,161	106%

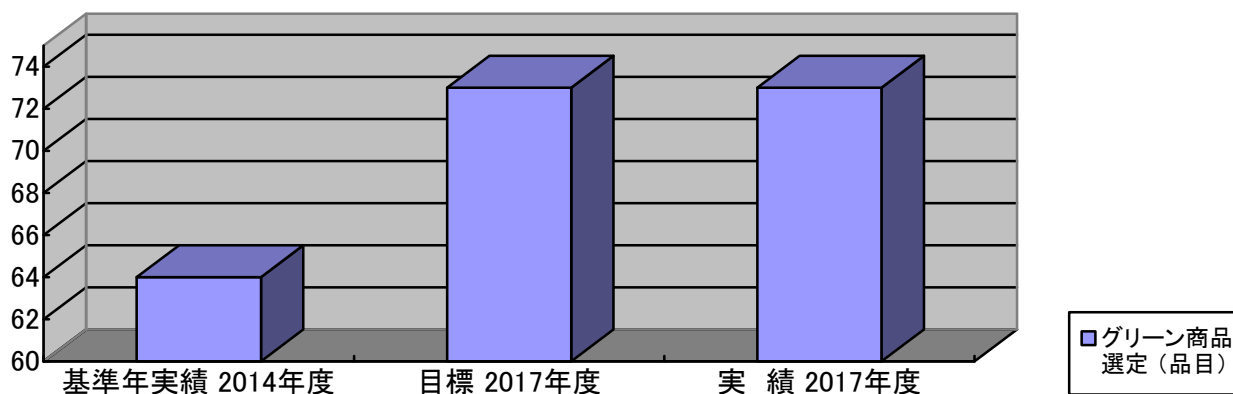


【具体的取組】

- ・資機材の適正価格を調査し優先的に環境配慮製品を購入する。
- ・機材の定期メンテナンスにより、破損防止を図る。

(10) グリーン購入について

	基準年実績 2014年度	目標 2017年度	実績 2017年度	目標達成率
グリーン商品選定 (品目)	64	73	73	100%



【具体的取組】

- ・コピー紙・封筒類の再生紙使用
- ・文房具のエコ商品使用
- ・グリーン商品の選定



4. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

今年度の環境負荷低減活動を取りまとめ、環境管理委員会で環境への取組結果の報告を行い、評価及び見直しを行った。

No.	項目	評価
A	総エネルギーの投入量の削減	○
A-(1)	電気使用量の削減	○
A-(2)	灯油使用量の削減	○
A-(3)	LPG使用量の削減	○
A-(4)	自動車燃料の削減	○
B	資源投入量の削減	○
B-(5)	水使用量の削減	○
B-(6)	印刷用紙の削減	○
C	廃棄物総排出量の削減	○
C-(7)	当社排出廃棄物量のリサイクル率向上	○
C-(8)	受託した廃棄物のリサイクル率向上	○
D	資材費の削減	○
D-(9)	資材費の削減	○
E	その他の取組み	○
E-(10)	グリーン商品の選定追加	○
E-(11)	環境教育の実施	○
E-(12)	地域活動への積極的な参加	○

・電気、灯油、LPガス使用量について

取組内容である昼休み、退社時の消灯やクールビズ、ウォームビズを実施し冷暖房温度の適正化を図った。また、夏季にかけて窓際にすだれを設置し日除け及び断熱対策を行った。冬季にかけては窓際に保温フィルムを設置し室内保温対策を行った。一関営業所の電気使用量が惜しくも目標未達でしたが、その他については全て目標を達成しております。次年度は重点目標として取り組んで行く。

・自動車燃料について

取組内容であるエコドライブやアイドリングストップを実施し、目標を達成することができました。また、古い車両の入れ替えも進み、燃費向上に繋がっている。今後も継続して活動を続ける。

・水使用量について

取組内容である節水表示、バケツ洗車、洗濯時の節水等を実施し目標を達成できた。数値目標の削減が今後、困難と判断して現状維持に努める。

・印刷用紙について

取組内容である両面コピー・裏紙印刷の徹底やスキャナの活用、メール回覧、コピー機のリセットの徹底等を実施し数値目標を達成した。削減値に限界がきているため、現状を維持するよう努める。

・当社排出廃棄物のリサイクル率について

取組内容である使用済み用紙の裏紙利用、資源ごみのリサイクル分別、業務外物の持込み禁止等を行い、目標を達成することができた。今後もリサイクル率 80%を維持できるよう注意表示の強化などを行っていききたい。

・受託した廃棄物のリサイクル率について

取組内容である顧客へのリサイクル分別依頼を行い、目標を達成できた。分別に対する取り組みが市町村でも厳しくなっているので、各受託先へも通知し分別依頼を続ける。

・資材費の削減について

取組内容である環境配慮製品を積極的に購入し、資機材の余分調達のないよう管理を徹底し数値目標を達成した。資材費を削減することにより、利益に直結するため、今後も無駄を省くよう、取り組んでいく。

・その他の取組みについて

グリーン購入については、目標の選定品目を達成することができた。今後もグリーン購入の選定を検討し環境配慮品の購入を推進する。環境教育については、社内教育、常駐現場にはペーパー教育を実施した。まだまだ、教育に関しては浸透していない状況なので、今後の課題として取り組んで行きたい。地域活動については、冬季の町内除雪作業や交通安全街頭活動を実施するなど地域活動へ積極的に参加した。今後とも社会貢献活動の一環として取り組んで行きたい。

5. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

内 容	結 果
環境関係法律違反の有無	無
訴訟の有無	無

環境関連法規について、平成 30 年 6 月 29 日当社チェック表でチェックした結果及び環境に関するクレーム受付の結果から環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

6. 代表者による全体評価と見直し結果

【代表者のコメント】

近年、地球温暖化の影響によりかつてない程の異常気象が続いております。環境問題において我々にできる取組を今後も継続して環境負荷低減に努めて行くことが、重要であると認識しております。

大きく分けて4項目の取組を実施しました。概ね数値目標を全て達成することができました。環境委員会が中心となって取り組んだ成果だと思います。教育関係が課題に上げられます。従業員全体に取り組みを浸透させ相乗効果を期待したい。

北上ビルメン株式会社

代表者 鈴木 俊彦

一般廃棄物・産業廃棄物



特別管理産業廃棄物



当社は積み替え保管は行っておりません。

廃棄物処理料金	収集運搬物・処理物	標準価格	単位	受入基準・処理方法
		塵芥収集車	15,000	台・日
上記の料金は分別済み・梱包済みで当社から10km以内の収集範囲の価格です。廃棄物の処理料金については品目ごとに個別対応で見積いたします。お問い合わせ下さい。				

一般廃棄物の収集運搬量

平成29年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬	紙	リサイクル	18.47
	廃プラ	リサイクル	2.19
	びん	リサイクル	1.17
	缶	リサイクル	0.59
	布	リサイクル	0
	金属	埋め立て	0.96
	可燃ごみ	償却	34.9
	不燃ごみ	埋め立て	0.57
収集運搬量合計			58.85

組織概要

